

琉球大学学術リポジトリ

講義ノート： [(一)植民及植民政策の研究に就て]

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 昭和2年10月 記述は31枚目まで 資料形態: ノート 21cm×16.5cm キーワード (En): 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38349

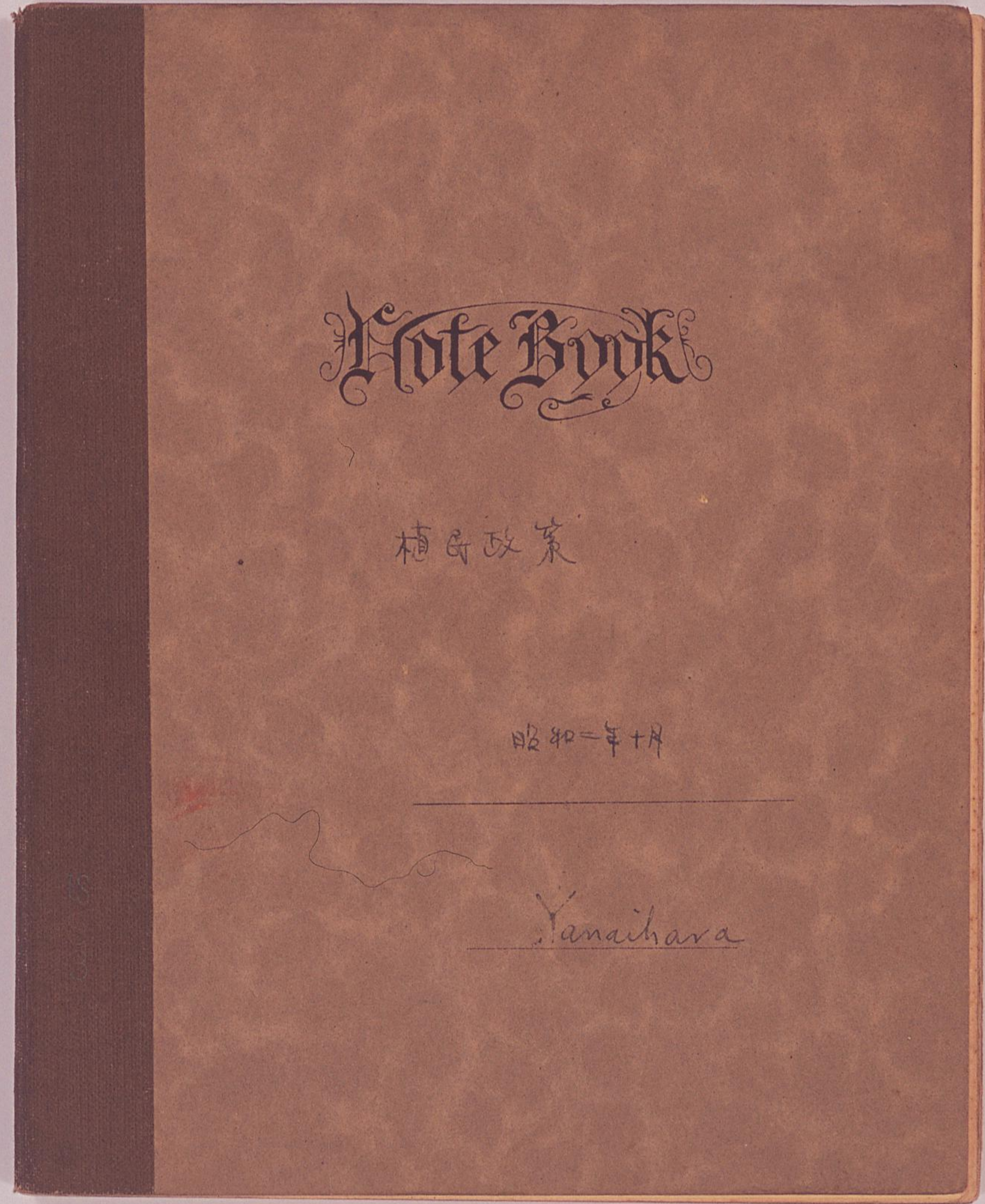
矢内原忠雄文庫

史料名	植民政策 昭和二年十月 [(一)植民及植民政策の研究に就て]
封筒番号	447
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 18 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：447

史料名	植民政策 昭和二年十月 [(一)植民及植民政策の研究に就て]
資料形態	ノート
枚数	31
頁数	62
縦 (cm)	21
横 (cm)	16.5
厚さ (cm)	
書誌的事項	植民 記述は31枚目まで 今泉分類記号：Y



Note Book

植民政策

昭和十一年

Yanaihara



1/10



Kodak LICENSED PRODUCT

KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

Black

INDEX

NO		PAGE
	本書読むについての注意	
	P. 260. 娘出四行	
	H. 1. "	
	「分節」 (教師、石部、若部、尾部)	

M.F.D. BY T.S. TOKYO

事實の記述とその基礎の母系立論(注)と混同する

(夏部 著の夏)

(一) 植民及植民政策の研究に就て

(I) 社会科学的研究の對象は社会的關係なり。而して個人的又は階級的關係の外に國民的社會群の社会的地位あり。一の社會群は他社會群の在るべき地域に其の地位地を離れ、他地域に移住することにより生ずる社会的關係を植民なり。その地域を植民地なり。(P. 3)

植民の社會關係は母國植民地間の關係及母國在る地位者の關係を含む。その内容に於ては經濟的、政治的、社会的地位に亘る。植民の行はる、原因能成環境は一掃ならず。資本主義の時代に於ては資本的植民の行はる、ことは當然なり。其の社會關係は資本の輸出を以て行はるるも、資本輸出そのものの植民に於ては、又植民は政治的權力の延長に於ては、政治権の延長の如く植民に於ては、植民の本質は移住による社會群の接觸にあり。

新附の領土は母國に對して移住、行はるる場合を被服の植民と稱し、外國に對して行はるる場合を植民と稱す。兩者の區別は公法的環境に在り。是は事實上の區別に於ては、社會的權利に在る。併し事實上の區別は在らず。[資本輸出が外に於ては、母國に於ては、既に在る。] 領土擴張政治權延長は政治的獨立の要求あり。その政治的獨立は、植民の社會關係は母國の發展を遂げ得べし。植民地を定義に (Cobden) の如く (P. 14-18) 植民地研究の中心は、其處に行はる、社會的、經濟的、發展の如くあり。余の教科書 (植民及植民政策) に於て、植民の本質を明かにする為めに、類似的現象の本質的區別を否定せるは、議論の行は

生業の發展の活動と資本の輸出とを考へら

- 大野 → (1) 領土 (2) 領土
- 山本 → (1) 領土 (2) 移民 (3) 領土 (4) 領土
- 田川 → (1) 領土 (2) 領土

→ 「領土」の中に
移民地は移民 領土の分格と見らる。

Migration ^{正式} 領土以外に領土の ^{領土} 領土研究の
内地移民 --- 領土の領土 特徴が ^{領土} 領土
移民 --- 領土の領土 特徴が ^{領土} 領土
移民 --- 領土の領土 特徴が ^{領土} 領土

政治的領土は領土の中心 領土の研究は領土の
法律学的 ^{領土} 領土の解放に 社会学の領土学的に置き、
(1) 本國の為め 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
の社会的 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
為何に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
かにおよぶべき事柄に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に

(II) 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に

(III) 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に

(IV) 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に
領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に 領土の中心に

重要なり。母星を第一の主要なり。子星との彗星の分拆の交差の
特徴、動向等を以てわき知る科学としての地質学の任務也。

植民地と地質学の学問的研究は Adam Smith の功績なり。
彼の地質に於ける主要な貢献は次の諸点に在り。

- 1) 地質学の諸問題を体系的に論じた。
- 2) 地質学と国際経済的動向との関係を論じた。
- 3) 地質学と社会的進歩の発展の関係を論じた。
- 4) 地質学的価値と地質学所有の価値とを区別して論じた。
- 5) 地質学所有の結果が地主母星に本國に於ける利益を
もたらすの如くして地質学的利益は如何なるかを論じた。又本國の
大商人大家を以て利益を得るの如くして一般国民の利益も増進する
ものなるを指摘した。

即ち Smith は ~~地質学~~ Mercantilist の如くして地質学
と本國の利益との関係を論じた。其の「地質学」の意義として地質学
を論じたに於て、その外には地質学の社会経済的価値の如何と
研究の如何とを論じた。實際的には Mercantilism 的少くも
階級制の利益増進の地質学的価値を論じたものなり。但し
彼は地質学所有の如何に於ては深く論じて居た。^(地質学)
並に此の自由主義の下に、資本主義の regime を論じた。
経済学者の地質学問題を論じるに於ては、地質学の本質に於ける如何
の如何に其の論議が著しき。而して十九世紀末以来帝國主義の時代の地質
学は如何に地質学の有用性を論じたに在り、如何に之を本國(本
義に本國)の如何に役立つべきかの方針を論じたに在り。而して地質学

政治的傾向を重視せしめ、及び植民地の経済的発展の促進に努力する
多く同様に、^{植民地}植民地学^{同様の学問}は、^{社会}社会科学の一分野として存在する。この植
民地の研究は、社会現象の科学的研究としては、重要な位置を占める。

此傾向に於いて、植民地研究の分野を異にする一般経済学は、^{同様に}Marx主義/植民地^地とは、社会経済の発展の過程の
中に見、且つ植民地は、社会的経済的発展の過程の「支那的発展を
促すもの」として、(註文は Die Moderne Kolonialtheorie)

Marxの後継者等は、地立場から、更に植民地研究の重要性を認識し
Hilferdingの学問的発展に貢献し、これは Smith に比し、^{より}進歩したものである。
Bucharin の一著は、Luxemburg の Akkumulation des Kapitals と密接
して見られ、^{植民地}植民地の Bedeutung は、その著述に於いて、

- (1) 植民地は、(世界)経済の発展過程に於いて、^{重要な}重要な現象として
見られる
- (2) 植民地内の社会的経済的関係の特徴を明らかにすること
- (3) 植民地の植民地政策は、資本主義の発展の過程に於いて、^{必然的}必然的有用
なものとして見られる
- (4) 帝國主義の植民地政策の準備に於いて、^{環境}環境的作用の認識。

資本主義の発展に、植民地は、世界経済の重要な部分、植民地の社会的経済的特
徴、植民地の主権及び植民地、植民地及び植民地、資本主義の発展に於いて
重要な位置を占める。

(IV) 植民地の研究は、^{現代}現代の植民地学は、^{重要な}重要な学問として知られ、^{帝國主義}帝國主義の維持
又はその批評に於いて、^{我國}我國に於いては、^{未だ}未だ充分に知られていない。

英... Colonial Office. Indian Office.
 Colonial Institute, Imperial Institute.
 独... Kolonialamt
 Kolonialinstitut
 Kolonialgesellschaft.

- (1) 邦廷行政中央機関の概略。—— 邦廷の設置。
- (2) ~~邦廷の概略~~ 邦廷の歴史と作用の概略。—— 邦廷の歴史。
- (3) 中央研究調査機関の概略。—— 邦廷の調査機関。(邦廷の調査)
- (4) 各大学の講義。—— 「邦廷の概略」の講義。

邦廷の概略
 p. 1. 2. (邦廷) 4. (Zionism) 5. 邦廷の概略 (邦廷) 7. Reinach
 13. 23. 26. 31. Colonia + Provincia 35. 邦廷の概略
 36. (邦廷の概略)

人口問題

重商主義政府は人口の増加を以て富強の要因と見做し之を奨励する政策をとりし中世的社會制度の下に於てはその増加率少く Adam Smith はイギリスの人口は500年に1倍加する位だと言つて居る。 Malthus 人口論出版の二年前(1796)に於て Pitt は人口増加奨励法案を議會に提出したのである。(かかる他方に於ては enclosure, Guild system の兩項を以て國定等の改革貧民向に漸次寛容したる Elizabeth 以来 Poor Law が重要な社會制度である。 Bourgeoisie の富興を内容とする近代國家的政府は人口増加を奨励する封建的及都市的社會階級世の勢力ある者其の増加を顯著に受け容れしこと出来ず従つて人口もあまり増加せざるに拘る貧民は著しく増加したのである。然るに貧困の原因は人口の不足にある如く考へて一方では救貧法を施行し、他方では人口増加を奨励して居るのである。

(かかるアメリカの植民は彼地の状況に注意を惹かされた)

アメリカには人口自然増加が急速に二十年位で倍加する勢ありしかも富強の増進も顯著であった。 此れは何故同じイギリス人のアメリカに於ては人口増殖率が大でありイギリスに於ては小であるかの差異の説明はアメリカに於ける生活資料の豊富に於てイギリスに於けるその不十分にある、人類の増殖力そのものは甚大であるがその生活資料の限界内に於てのみ實現せしむ得る、の故といふ説を生じたり (Franklin 等)。 Malthus の説と異なる。 即ち彼は人類の増殖力はかく自然法則により急速であるが、~~土地~~ 生活資料の増加は土地の性質に基く自然法則により制限せられ

最上

人口の急進的増加は得ざるが故に、^{人類の}増加は自然法則の制約によりて、^{人類の}人口増加は限制的に抑制せらる(物理的制限) 之を抑制する大則は、^{人類の}人類は動物と異なり、^{動物と異なり}動物として本能的に増加を抑制す(精神的制限)。而して ^{貧乏の制限}poverty 及び ^{飢餓の制限} 精神的制限として、^{貧乏を避ける} vice を避ける此の方法は moral restraint なり。この方法によつて社会の腐敗は避け得べし。貧困の救済は個人的自覚、責任による moral restraint の、^{自覚と責任} 結果として、^{教育の普及} 普及は教育の普及に前と為る。即ち Malthus によれば貧困の原因は人口の不足に對して即ち増加に在り。而して 1801年の census は Malthus の説を強めたる。

當時 France にては封建的の遺制。下は第三階級は農民の貧困甚く(土地制に依りて) 見れば、^{農民の貧困} 農民階級の奢侈も目立つて居る。Bourgeois 革命の勃発したる世界に於て、その思想は Godwin を通じて行はれし、^{Godwin の思想} Godwin は貧窮、平困と政治的組織、^{政治的組織} 社会制約に對し、^{社会制約} 公共の利益に於ては貧窮は拒絶すべく、且つ人類増殖を止むべきに在り。Malthus は Godwin の空想的なことを攻撃し、^{Godwin の空想} 前述の如く貧窮の原因を自然法則に歸せしむることによりて、^{自然法則} 革命的な大動機と之に對する、^{革命的な大動機} 革命的な交響とを遂げ、^{革命的な交響} Liberalism を推廣せしむる。Malthus が代収として受けたるものは、^{Malthus の代収} 實に Liberalism が受けたるものなり。即ち産業革命と連して Capitalism に入つた時代の要求であった。代價はフランスに

比すれば、政治的に封建的に建つたのが早く、^{政治的に封建的に建つたのが早く} 資本主義の秩序に早く入りかけたから、^{資本主義の秩序} 個人の自由洗却と責任を重んじ、^{個人の自由洗却と責任} 二つの秩序の中に社会経済の制衡を著せしめて居たのである。之が故に France が此の政治革命と並んで、^{政治革命と並んで} 産業革命を遂げたのである。

Malthus 以後の Capitalism は非常に急進的に行はる。富は著しく増大し、^{富は著しく増大し} 人口、^{人口} 出生率、^{出生率} 及び自然増加率は急激に増進した。十九世紀後半、^{十九世紀後半} 工業革命の勃発により、^{工業革命の勃発} 出生率は激減した。其の故は、^{出生率は激減した} 特殊に、^{特殊に} 富者階級に於て、^{富者階級に於て} 出生率は減少した。即ち資本主義の勃発によりて、^{資本主義の勃発} 人口増加率は、^{人口増加率は} (1) 独占資本主義の勃発と共に急激に増加し、^{独占資本主義の勃発と共に急激に増加し} (2) 人口は、^{人口は} 資本主義階級と労働者階級とに分別し、^{資本主義階級と労働者階級とに分別し} 前者は前者に、^{前者は前者に} 貧乏は後者に地味に、^{貧乏は後者に地味に} (3) 有産階級人口は、^{有産階級人口は} 全社会人口中の小部分を占むのみならず、^{全社会人口中の小部分を占むのみならず} 増加率は小さく、^{増加率は小さく} 貧乏階級は急進的に増加した。この急進的現象は、^{この急進的現象は} 富者階級の奢侈、^{富者階級の奢侈} 労働者の失業、^{労働者の失業} 生活の困窮、^{生活の困窮} 資本主義、^{資本主義} 生産過剰、^{生産過剰} 及び人口過剰(失業)は一脈の資本主義の制限也。生産過剰と人口過剰とは即ち資本主義の制限也。生産過剰(労働者)と人口過剰(失業)とは即ち資本主義の制限也。生産過剰(労働者)と人口過剰(失業)とは即ち資本主義の制限也。生産過剰(労働者)と人口過剰(失業)とは即ち資本主義の制限也。

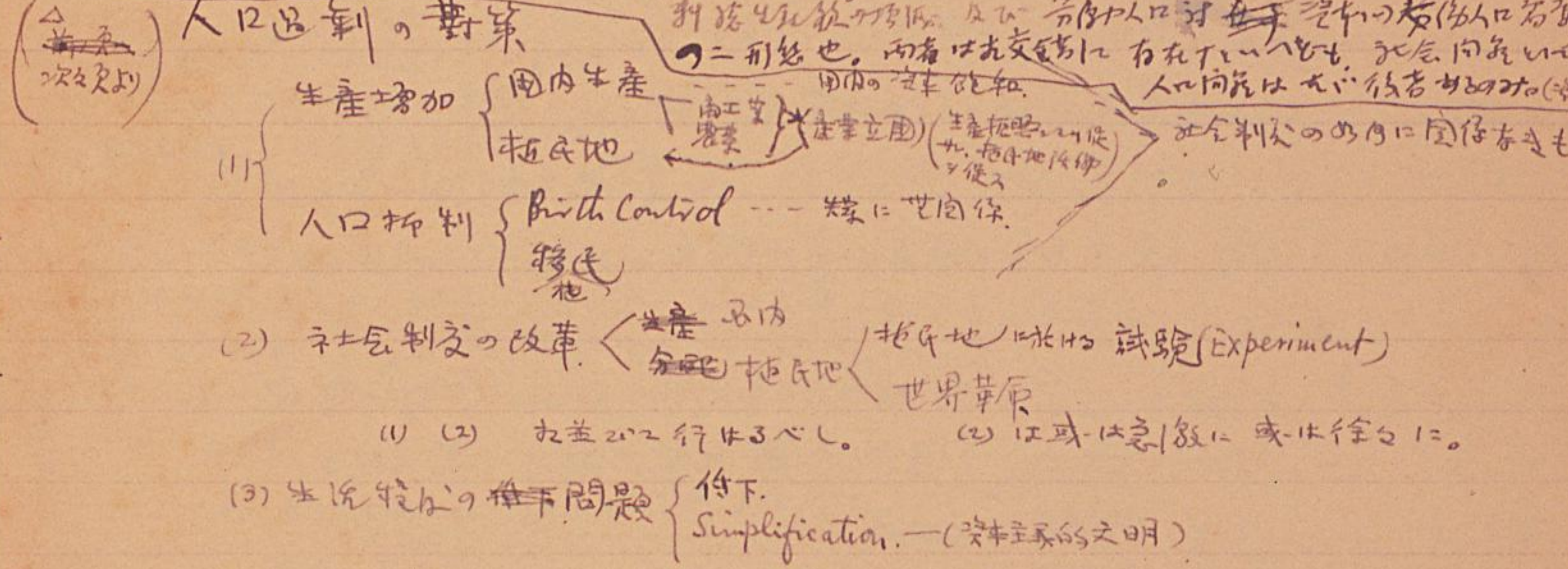
Capitalism の下に於て各人の生活は直接には其所得
額及所得の確保に依存す。社会総生産物の量に依り、
勿論生産物の量に依り、其の價格に依りて real wage
は上下し生活に影響を及ぼす。故に wage の大きさと
Continuity とは資本家の利益に依りて決まる。故に
これに、労働者階級の生活状態も（失業、疾病、老弱）
亦依りて決まる也。故に人は自由競争の社会に於ては、生活資料
の確保に世間的に依りて決まる也。

生活資料の確保、即ち人口問題（一定の社会に於て人口を支持
するに於て人口問題）は社会制度に依りて決まる。故に
社会制度に依りて、社会総生産物の分配に依りて、
故に社会制度に依りて、土地の不足及貢獻の減少に依りて、
封建制度に依りては土地の不足及貢獻の減少に依りて、
Guild System に依りては Guild の制限に依りて、而して Capitalism に依り
ては貨幣及財産の不安定不利に依りて決まる也。故に社会
制度に依りて、生活資料の確保に依りて決まる也。故に
社会総生産物の分配の確保に依りて決まる也。

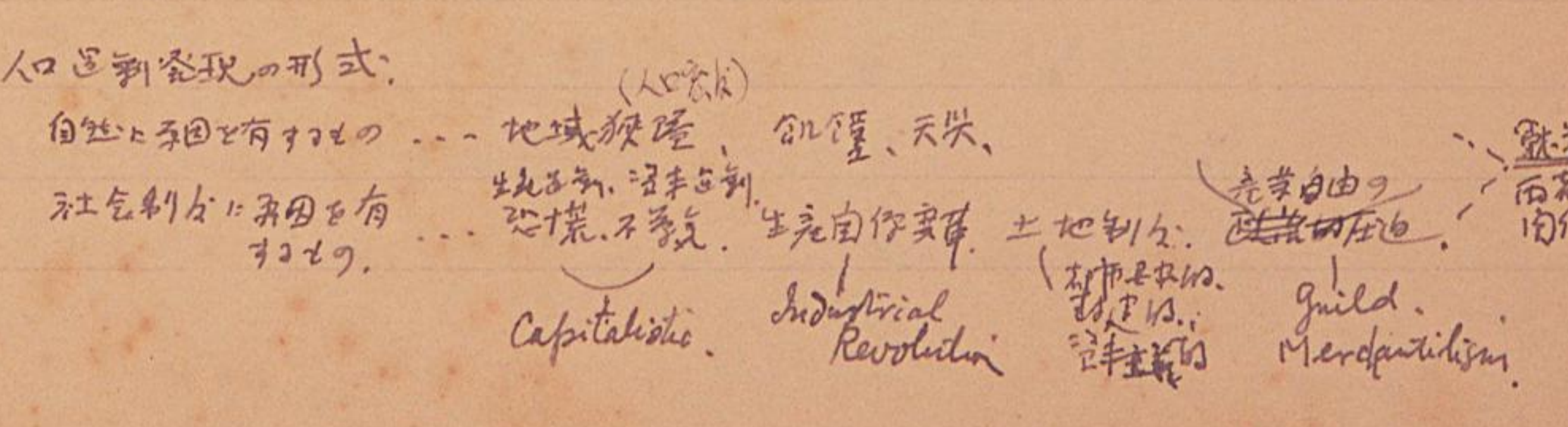
人口の増殖は一定の現象なり。生活資料の充足は自然力
の範囲内にはある。然れども人口も一定の限度に於ては
生活資料の確保に依りて決まる也。故に社会制度に依りて
人口の増殖を要にする。故に社会制度に依りて人口問題
也。即ち人口問題は社会制度の作用の中に於て見らる
也。故に社会制度に依りて人口問題は決まる也。故に
社会制度に依りて人口問題は決まる也。故に社会制度に依りて
人口問題は決まる也。故に社会制度に依りて人口問題は決まる也。

*建設すべき社会の自然法則的
人口理論に依りて主張せらるる也

Malthus の人口理論の自然法則的
（或は地及食糧の充足に依りて自然法則的に決まる）とは Godwin
の空想に依りては社会の進歩に依りて決まる也。故に社会の進歩に依りて
人口問題は決まる也。故に社会の進歩に依りて人口問題は決まる也。



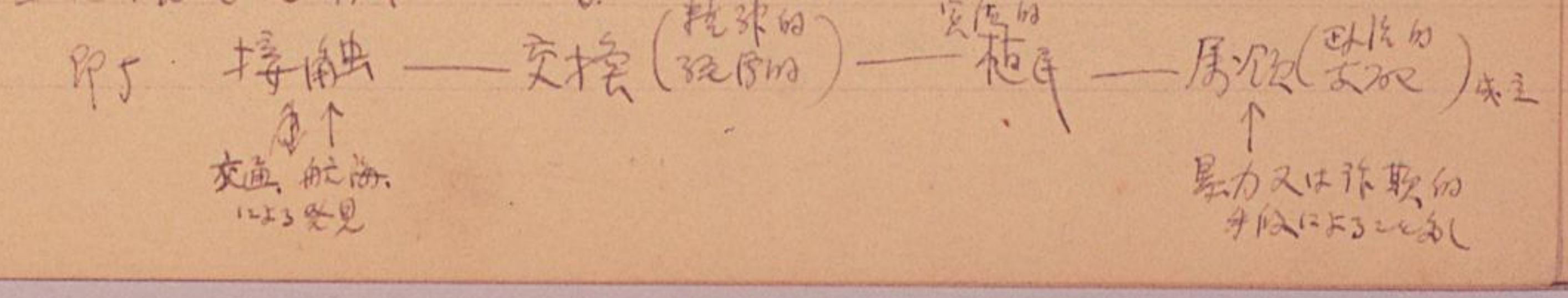
- P. 38. 一國の人口問題と世界全体の人口問題 (Malthus) Malthus は資本主義社会と世界の見方の一致を論じて居る也。
- P. 39. 農村人口問題 (潜在的人口过剩)。
注. 移住率、人口増殖率
- P. 46. 生活資料と労働能率
- P. 56, 57. 社会制度
- P. 57 一頁. 人口問題の現形式。



帝國主義

(I) 世界經濟及政治の擴張史
— 植民地的發展の世界史 —

文明は河川又は内海に沿ふて発生したと云へるが、之れ又此は交通が伴つて、従つて文明は他社会群(他民族、他人群)との接触によりて発生したものと云ふに外ならず。接触は精神的所産(思想、学藝、宗教等)及物質的産物の相互の交換を云ふ也。——高級交換は、従つて高級は最初は一社会内の成員間に発生し(起る)が、次に他社会群相互に発生した也。——^次交換は^(起る)接觸を云ふ也。蓋し高級交換に^{起る}は、高級交換は高級社會を云ふ也。高級社會は^(起る)社會に於て、他の社會(比較的原始的社會)の雙方に於て云ふ也。他の社會に於て、^(起る)高級社會は^(起る)社會の侵蝕によりて^(起る)發生せしめられた也。蓋し^(起る)高級社會の^(起る)知識及び技術は^(起る)社會群の^(起る)交換の^(起る)結果に^(起る)發生せしめられた也。彼^(起る)他^(起る)社會の^(起る)侵蝕は^(起る)結果に^(起る)發生せしめられた也。即ち交換(高級)及^(起る)發展は^(起る)從つて^(起る)行ふが如く、彼地は^(起る)交通の^(起る)發展の^(起る)結果に^(起る)政治的^(起る)支配を^(起る)得るが如く、^(起る)之を^(起る)得るは^(起る)進歩的^(起る)發展^(起る)の^(起る)爲めは、^(起る)政治的^(起る)支配を^(起る)得るが如く、^(起る)其の^(起る)手段^(起る)は^(起る)通常^(起る)武力^(起る)の^(起る)壓迫^(起る)と^(起る)直接^(起る)又は^(起る)間接^(起る)の^(起る)武力^(起る)を^(起る)背景^(起る)に^(起る)して^(起る)外交^(起る)に^(起る)用い、蓋し^(起る)一^(起る)社會群^(起る)に^(起る)他^(起る)社會群^(起る)の^(起る)政治的^(起る)支配^(起る)は^(起る)平和的^(起る)に^(起る)受容^(起る)せし^(起る)は^(起る)例外的^(起る)な^(起る)事^(起る)也。文明社會は^(起る)自主^(起る)の^(起る)集團^(起る)意識^(起る)を^(起る)具有^(起る)す^(起る)也。



の過程より ^{「國々的」} ~~「國々的」~~ 支配の範囲が拡大せし ⁽²⁴⁾ 其の文明が普及し発展
 する。又この過程より「帝國」(主として西の(地中海)沿岸)は成り立ち
 し、他の「帝國」亦互に接觸し、又帝國と小國と、或は小國相互
 の接觸連結關係を生じたり。之は世界歴史及地理の成る
 過程也。

滿洲集
P. 72-3

古代の文明は 印度、支那、^{Assyria} 埃及、^{Babylonia} 及び
 南米に於ける Inca 等、印度支那とは早の交通が此を高山を
 以て隔るが故に 餘り乏しく、此の連結關係は此に如く
 Assyria, Babylonia は東に於ては 印度に接し、西に埃及と接觸
 せしむる。之の間に於て Media & Persia は更に
 南東に於て 交通の有る如し、Phoenicia 人は東西貿易の
 Träger として Carthage の地を建設し、その間に及ぶ迄
 の 高草に於けるは、本邦部を以ては ギリヤ諸部と 地中海東
 岸に小アジア地方の イリヤ 及び Italy に至る。311 Alexander
 大王は 埃及及印度を 征服し、一帝國を建設する。

Rome は小アジア、エジプト、カエーシ、北はドイツ、
 イタリアに 進出する 帝國を 形成した。Rome 帝國 設置後
 の trade route は 右路に Italy 諸都市 (Venetia,
 Genoa, Pisa, Firenze, Anagnini 等) は 西東を
 經て India 貿易に 從事し、而して Hausa 諸都市の
 商人は London, Amsterdam 等を 經て 之を 貿易する。

高草の 相する、
 (1) 亞細亞人... India, Egypt, Africa 諸部。
 Africa 諸部。

1543 葡萄牙人 種子島に漂着して鉄砲を伝へた。

1549年(天文18年) Xavier 日本に來る。

1609年 蘭人平戸に來る。

1696 蘭人が44回にわたる。

1592. 李在平の乱に著し1巻。

1636(寛永13年) 鎖国令

邦語 (高橋の語彙)

1. 蘭人の用字一用字の出現。

1570. 1591. 日。 1711. (高橋)

2. 大量生産に必要の原料の採掘及原料の供給資本の抽出

(2) Jew. — 1711% 241% 北歐. 車輪. 1712. 1711p.

(3) 地中海沿岸

(4) Hausa 沿岸

(5) 支那人 — 蒙古の Europe 侵入. Commercial 1712. 1711p.

15世紀 Turk 人の興起により 陸路の India 貿易は絶たれ、
16世紀 海路 India に到達する途に本出に到り。 是の途に
17世紀 Portugal 及 Spain あり。 Columbus の 1492
発見 (1492) は 20世紀に及ぶ大陸を世界に開いた
もの。 — [Luce de la 17世紀] の degenerate 1712.

Vasco da Gama (1497) の 印度の航海は Africa 大陸の
3回航海 India まで到達し 交通に北に、又 Magellan
の 世界周航 (1519-22) は 特に 南緯の方面に於て Weltverkehr
Weltverkehr, 交通に貢献した。 此後 17世紀は 1712.

葡. 西両国に於ては Holland, 英, 佛の 17世紀に
1712. (Holland) 1712. 1712. 1712. 1712.
1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712.
1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712.
Napoleon 戦争を経て 英米の 1712. 1712. 1712. 1712.
1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712.

1. 封建制より近代の国家の出現せる時代には、国家
の統一は 政治的發展の 1712. 1712. 1712. 1712.
Portugal: Spain (特に 1712. 1712. 1712. 1712.)
2. 近代資本主義経済への 1712. 1712. 1712. 1712.
1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712. 1712.

原料

Cotton - Egypt 1850 4.4 billion lbs
 Br. India 87 4.4 billion lbs
 Raw rubber - Congo, 1886 30,000 tons
 Amazon (Monroe Doctrine)
 Malay - Dutch East Indies 1886 8,000,000 lbs

3. 交通の発展 (Livingston, Johnston, Stanley)
Surplus Capital
 1914年12月 50 billion francs
 1915年12月 2 billion pounds at
 28 billion Marks
 9 billion dollars

4. Missionsarbeit. Kultur
 5. 交通の発展 (Leopold - Congo)
 Chartered Company
 O'Swald company. Zanzibar
 1874 Zanzibar 1874
 Woesmann - West Africa
 Negron salt of gun

6. 交通の発展
 1838年 regular line of steamers (Pistol, New York)
 1840年 鉄道建設
 1850年 汽船 (1880 鋼船)
 1851年 最初の海路電報 (Dover-Calais)
 1866年 改良の cable
 1869年 最初の 横断鉄道
 1869年 Suez Canal
 1883-1902 海路電報
 1914 Panama 運河

7. 交通の発展
 Carl Peters 1884 Gesellschaft für deut. Kolonisation
 Godeffroy 1878 Deutsche Handels und Plantagen-Gesellschaft der Süd-See Inseln
 1879年 2222
 1880 Deutsche See Handelsgesellschaft
 Samoa Subsidy Bill 1892 (40万馬力) 5.4万馬力

U.S.A の 原料の輸入

1850	407,141
1875	58,387,008
1900	210,771,745
1925	1,430,012,763

U.S.A. の 原料の消費

1879	37,000
1909	116,000
1919	2,000,000

Rubber 1870-1910
 1915年以後 Italy, 社会主義 (共産主義)

Holland (Spain 1492), 英 (Elizabeth, Cromwell, 以海軍),
 佛 (François I, Louis XIV), 普 (Frederick der Große)
 3. 航海探検, Pioneer 的 行進, 先進 政治 的
 colonial trade, 社会 的 Italy 諸 国 的 出 産: 而 且 Italy
 其 分 的 共 同 的 地 球 的 利 益 的 使 用 也

Columbo, Vasco da Gama, Magellan.
 Cabot, Verazzano (Francis I 的 北 方 航 路 探 險 隊)
 3. 宗教 的 熱 心 的 探 險 隊 的 行 動 也

Portugal, Spain --- Moors, Jew.
 Holland, England --- 旧 教 徒 的 行 動 (西 葡 的 行 動)

4. 航海 的 行 動 的 必 要 的 資 金
 Portugal, Spain --- 国王 (King of Moors, Jew 的 行 動)
 Privatanternehmung
 Prince Henry. 西. Ferdinand: Isabella.
 葡. 英. 佛 --- Chartered companies ---
 merchants of Privatanternehmung.
 Colonies, 探 險 的 行 動 的 实 行 及 現 状 也

6. 航海 的 行 動 的 改 善 (科学 的 世 界 的 互 助)
 7. Kolonialmächte 的 世 界 的 分 割
 西 葡 的 独 占. Papal Demarcation Line.
 葡 佛 英 的 利 益. 葡 佛 英 的 争 端

"If France refrain from imperialism, she would descend from the first rank to the third or fourth."

— Jules Ferry

"mission civilisatrice"
"Deutsche Kultur"
White Man's Burden.

領土擴張、公使、地政の権限を認めざるを以て。

Disraeli の "Millstone" episode (1852年)

1865年 House of Commons の Committee は Sierra Leone

を以て West Africa 諸島の領土に擬し、現今の同地

に諸島を以て建設せよ。

Gladstone ^{John Bright} Canada を以て領土に擬せしむるを以て

これを以て拒絶せり。

(かくに ~~1870年~~ 自由主義時代を通じて 地政の政策的放棄ありし

りしが、更に大面積の土地を以て 諸島の地政に比して 治世の

政治の体系の中に編入せしむる。

1842年 --- 印支の従属、印支諸島の成立、高加索西側の占領。

香港の占領 (1840-42)。

1832年 --- Algeria 占領 (1830)、文趾支那 (1862) 占領 (1863)

スエズ運河 (1869)

1847年 --- 中央アフリカ (1848-76) 運河 (1802-1875) 占領 (1856)

"Little Englandism" には 諸島に Colony の政策行はれ、その 地政

行はれ、これは 以上 諸島の事情に於て 必ずしも 一致するべし。

1842年 --- 地政下の 諸島に於て 諸島の 地政

1842年 --- 諸島の 地政、諸島の 地政、諸島の 地政

"Take up the White Man's Burden — 諸島の 地政 (諸島、諸島)。 — Wakefield. (1879年)

Send forth the best ye breed — 諸島の 地政。

Go bind your sons to exile — 諸島の 地政。

To serve your captives' need; — 諸島の 地政。

To wait in heavy harness, — 諸島の 地政。

On fluttered fold and wild — 諸島の 地政。

Your new-caught, sullen peoples, — 諸島の 地政。

Half devil and half child."

— Kipling. "White Man's

Burden."

(1879年)

1870年 Great Britain) 鉄と炭は世界最大の Cotton goods の産地。
 (Moon. P. 27)

	Pig Iron (千噸)				Cotton Industry (噸の増加)			
	1870	1876	1877	1903	1870-1903 増加率	1870-80	1880-90	1890-1900
United Kingdom	5,960	8,660	8,796	8,935	50%	19	18	3
U.S.A	1,670	8,623	9,653	18,009	766%	45,390	42	50
Germany	1,390	6,260	6,760	9,860	609%	33	53	25

export.
 1870-1900 年 U.S.A の export は四倍。ドイツは三倍。英は 45% の増加。鉄と炭の export は 1880年代は 70年代の若干倍。Cotton export は 41% 増加。又英の Cotton export は 90年代は 70年代の倍と同じ程度に増加。
 U.S.A は 70年代は 1870、1877年と同様に増加。1877、1879、1894、1903年 (1877年以降)。
 Royal Dutch Shell. 1912年まで Caucasus に鉄と Rothschild の鉄とを輸出する。

Standard Oil Co. 1920y Nobel Co. 9 Russia に石油を輸出。
 Turkish Petroleum Company. 50% Anglo-Persian Bank
 25% Royal Dutch
 25% Deutsche Bank

1914年 土は波斯の Mosul 及 Bagdad, oil concession を得。
 Standard Oil の支配の権限 維持する。
 25% Anglo-Persian
 25% Royal Dutch
 25% Compagnie Francaise des Petroles.
 25% Standard Oil.

1925 三月 24日 Iraq と波斯の鉄とを 75% 9万英鎊の油田 Concession を得。

投資 (1914年=100) — 1870年以後は投資の中心
 佛 50 billion francs (他 foreign countries)
 英 2 billion Pfd. Sterling in Colonies. 42% other undeveloped countries
 独 28 billion Marks

Table Turned. 近代的帝國主義時代。
 ドイツ及半島の隆起の極端。 —— 世界を支配するの意欲の発露。
 独及半島の隆起の源 — 政治上に押し出す力。 (世界帝國の
 源と及半島北戦争)

1870年代は 1870年代の Foreign Trade の隆起。 Depressions がある。
 Disraeli の 勅諭 1872年の 宣言 (Crystal Palace) 1874
 白肉の隆起。 1878年 Berlin Congress (Cyprus)

Rothschild の隆起。
 1875年 Suez Canal Shares 176,602 株買取
 1870年代は 15% (1870, 1871, 1872, 1873, 1874, 1875, 1876, 1877, 1878, 1879, 1880, 1881, 1882, 1883, 1884, 1885, 1886, 1887, 1888, 1889, 1890, 1891, 1892, 1893, 1894, 1895, 1896, 1897, 1898, 1899, 1900, 1901, 1902, 1903, 1904, 1905, 1906, 1907, 1908, 1909, 1910, 1911, 1912, 1913, 1914, 1915, 1916, 1917, 1918, 1919, 1920, 1921, 1922, 1923, 1924, 1925, 1926, 1927, 1928, 1929, 1930, 1931, 1932, 1933, 1934, 1935, 1936, 1937, 1938, 1939, 1940, 1941, 1942, 1943, 1944, 1945, 1946, 1947, 1948, 1949, 1950, 1951, 1952, 1953, 1954, 1955, 1956, 1957, 1958, 1959, 1960, 1961, 1962, 1963, 1964, 1965, 1966, 1967, 1968, 1969, 1970, 1971, 1972, 1973, 1974, 1975, 1976, 1977, 1978, 1979, 1980, 1981, 1982, 1983, 1984, 1985, 1986, 1987, 1988, 1989, 1990, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 1996, 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025)

近東 — Bagdad 鉄道。
 Anatoliam Railway Co (1875年) 土は波斯の oil を explore する。
 土は波斯の oil を explore する (1875年)。
 土は波斯の oil を explore する (1875年)。
 土は波斯の oil を explore する (1875年)。

China 分割と 1842年 (上海) 及 1877年。
 土は波斯の oil を explore する (1875年)。
 土は波斯の oil を explore する (1875年)。

世界大戦。
 世界経済及政治的連繋の實現を待たず。
 領土の分割 (大領土)。
 領土の分割 (大領土)。
 領土の分割 (大領土)。
 領土の分割 (大領土)。

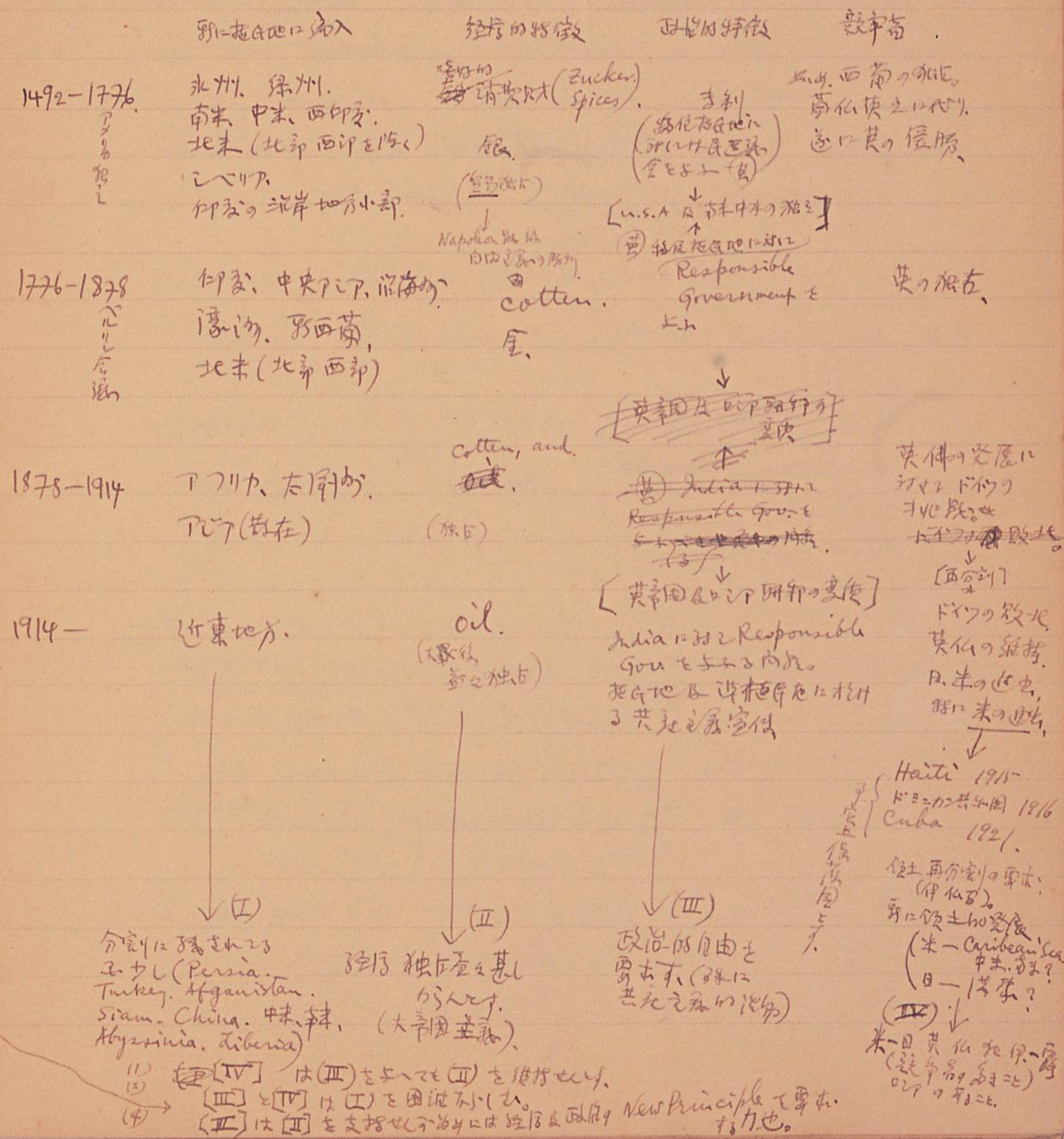
1492-1776 時代の export --- Woolen cloth & alcoholic beverages.
 出口商品の目録は上記の通りである。この時代の経済発展は、
 (Moon. R13)

* - National City Bank.

「新国主義の現勢」 中央公論 昭和二年(1927年)第1号

(3) [I]と[IV]とは 経済的強者の Herrschaft を有するし、
 [II]と[III]とは 経済的弱者に依りて

偉大なる世界発展の 新の潮流は 是れなり。



"Colonial Policy is the daughter of industrial policy. -
 The Protectionist system is a steam-engine without safety
 valve if it does not have as correlative and auxiliary
 a healthy and serious colonial policy. -
 European powers of consumption are saturated."
 (Jules Ferry. 1890.). Moon. p. 44.

Table of Protectorates (Table)

	area	Population
Cuba	194,262 sqm	8,892,000人
Haiti		
Dominican Republic		
Panama		
Nicaragua		
Liberia		
Other dependencies & territories	716,608	12,864,000 (22,400,000)
	911,012 sqm	21,756,000人
尚不足	1924年人口 8510 万	16,500 万人
(f) 更に 増加 700 万人		13,586,039 sqm

Parker Thomas Moon. Imperialism & World Politics.

Colonial market

- 世界の export 半に 1/2 以上は 植民地
 Br. India, Dominions, & colonies - Great Britain's export の 2/5
 (42% in 1924. 49% in 1925)
 1st to 4th. 全 export の 13%. (Belgium alone, or Great Britain
 alone, is larger market than the whole French colonies)
 U.S.A. " " 1/9. (Canada is more valuable as market,
 Great Britain twice,
 Europe five times)
 Holland. 1st to 3rd export is Dutch East India の 8 倍 (1924)
 Belgium, Congo の 3rd export { Argentina の 9 倍 12 3 倍
 Holland " 10 倍 (1923)
 France " 20 倍
 Japan. (1924-5) 全 output の 15% 輸出 2 億 1 千万
 U.S.A. 2 億 4 千万 = 倍
 Germany (1925) 全 output の export 1/2 以上 1/2 以上
 1/2 以上 certain branches of industry 1/2 以上 colonial
 market 1/2 以上 1/2 以上 cotton & iron.
 Cotton. (2nd to 3rd 世界 植民地) colonial demand 1/2 以上
 U.S.A. 輸出 cotton-goods の 1/2 以上 Philippine, Porto Rico,
 Hawaii へ (48 産業 1/2 以上 1/2 以上 cotton
 industry 1/2 以上 1/2 以上 1/2 以上 1/2 以上)
 1st. 輸出 cotton-goods の 37% 以上 colonies へ
 cotton 輸出 の 最大市場は Algeria へ
 英. 露 2 億 2 千万 1913 年 India へ 2 億 2 千万 1913 年 India
 12. 3 billion yards 輸出

金銀 - 担取市場の需要

Hardware, railways,
ships, tools 等。

英。 1900-1910 年間に於ける iron, steel 及びその他諸品は
£23,500,000 増加した。 此中 £14,000,000 は new
Colonial business 也。 Br. Colonies は 1900 年
(39%)、1910 年 40% を輸入す。

米。 iron & steel business は 1880 年以後 "infant
industry" として 往々にて保護せらる。
Great War 以前は 産出額の $\frac{1}{4}$ 以上 $\frac{1}{3}$ は export せし
た。 此中大部分は Canada, Latin America,
Far East に輸出す。 此中 中国、暹羅の諸品は 産出額の
 $\frac{1}{6}$ 以上を占む。

加工品 - Profit.

生産費の増加 --- Raw material の増加、
国内市場、需要の減少、数量の減少 → Price の急激な下落 (相対的)
外市場、需要の増加、数量の増加 → Price の急激な上昇 (相対的)

国際加工品、
戦前 諸國の競争の協定、競争の激化也。

Aussensaiter の 5%
Tariff 92%
Protection 92%

在也地民地的發展表

時期	地區	New Occupied Parts of the World	地民地之發展	中 介			宣 行 者		目的 (動 因)		地民地之發展	地民地之發展	日本
				技 術	經 濟	政 治	宣 行 者	宣 行 者	宣 行 者	宣 行 者			
前期 1492 Spanish Armada	葡 西	北地: 佛地, 南地, 中地, 西地, 北地 (北地, 西地)	Compans (佛地), 大星 (佛地), 佛地 (佛地), 佛地 (佛地)	打進地, 打進地, 打進地, 打進地	個人, 個人, 個人, 個人	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	輸入, 輸入, 輸入, 輸入	Trade monopoly	專利	
前期 1492 1776 1876	葡 西	北地: 佛地, 南地, 中地, 西地, 北地 (北地, 西地)	Compans (佛地), 大星 (佛地), 佛地 (佛地), 佛地 (佛地)	打進地, 打進地, 打進地, 打進地	個人, 個人, 個人, 個人	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	輸入, 輸入, 輸入, 輸入	Trade & Industry monopoly	專利	
前期 1776 1823 Monroe Doctrine	葡 西	北地: 佛地, 南地, 中地, 西地, 北地 (北地, 西地)	Compans (佛地), 大星 (佛地), 佛地 (佛地), 佛地 (佛地)	打進地, 打進地, 打進地, 打進地	個人, 個人, 個人, 個人	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	輸入, 輸入, 輸入, 輸入	Free Trade	專利	
前期 1823 1878	葡 西	北地: 佛地, 南地, 中地, 西地, 北地 (北地, 西地)	Compans (佛地), 大星 (佛地), 佛地 (佛地), 佛地 (佛地)	打進地, 打進地, 打進地, 打進地	個人, 個人, 個人, 個人	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	輸入, 輸入, 輸入, 輸入	Free Trade	專利	
前期 1878 1914	葡 西	北地: 佛地, 南地, 中地, 西地, 北地 (北地, 西地)	Compans (佛地), 大星 (佛地), 佛地 (佛地), 佛地 (佛地)	打進地, 打進地, 打進地, 打進地	個人, 個人, 個人, 個人	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	輸入, 輸入, 輸入, 輸入	Protective tariff, Capital Export	專利	
前期 1914	葡 西	北地: 佛地, 南地, 中地, 西地, 北地 (北地, 西地)	Compans (佛地), 大星 (佛地), 佛地 (佛地), 佛地 (佛地)	打進地, 打進地, 打進地, 打進地	個人, 個人, 個人, 個人	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	宣行者, 宣行者, 宣行者, 宣行者	輸入, 輸入, 輸入, 輸入	Protective tariff, Capital Export	專利	

Literatur.

- Hobson, J.A. Imperialism
- Hilferding, R. Finanzkapital.
- Lenin. Der Imperialismus als jüngste Etappe des Kapitalismus.
- Luxemburg. Akkumulation des K.
- Bucharin. Der Imperialismus und die Akkum. d. Kapitals.
- Woolf, L. Econ. Imp.
- Parlovitch. ~~The~~ Foundations of Imperialist Policy
- Moon, P.T. Imperialism of World Politics (Columbia)
- Gibbons, H.A. An Introduction to World Politics

	生産関係	国内	海外
Greece	前帝國的な奴隷制	土地所有 前帝國的な自由貿易 (商業資本の附随的存在)	Apoikiaの形式 (本國の建設努力) 領土の拡大。奴隷の獲得 商業的発展。
Rome	Latifundiaの 大奴隷制	土地無兼併。 大莊園の (商業資本の附随的存在)	Coloniaの形式。 大帝國主義。 復讐の利権。奴隷の獲得 領土の擴張。 政治的権威。
中世前期 (Italy & Hanse)	封建制下 の自由 商業都市	封建制下 商業資本の (商業資本の附随的存在)	貿易の 發展。 (殖民地建設努力)
近代前期 の 自由貿易	近代的國家の發 生と資本主義の發 展	土地所有の確立 保護利権 独占利権 商業資本の發 (國家の地位) [商業資本の附随的發展]	土地所有の確立 商業利権 國民(資本主義) 政治的利権(近代主義) 宗教dissinters (近代主義) 國家の地位

(次頁へ)

帝國主義論

(II) 帝國主義の理論

國民の對外的發展は 形式的には 政治的文脈の擴張であり、内容的には 経済的利益(は Krieg, Handel, u. Piraterie) 宗教的文化的 利益であり、手段としては 武力及外交を *用ふ。(教科書 P.91, 注)

斯の如く 對外的文脈擴張の運動は 古來人類社會の有り様である。その 様相は 各時代の生産關係に 依りて異なる。Greece, Rome, 中世前期, 近代前期, 近代後期と 近世資本主義時代のものと異なる。資本主義時代について 發展段階に 依りて 商業資本主義は 重商主義(重商主義)を、産業資本主義は 自由主義(自由主義)を、金融資本主義は 帝國主義(帝國主義)を 採用す。何れもこの時代の生産關係に 依りて 特殊性を 帯び、帝國主義は 金融資本主義の 運動の 表現なり。Schumpeterの 政治的經濟學の 著述に 依りて 帝國主義の 表現は 廣く 國民的文脈の 對外的擴張運動で 一般的に 帝國主義と 呼ぶる あり。かくの如く 帝國主義の 普通の 把握は 内容空疎に 依りて 具體的に 行はれざる べきなり。十九世紀の 七十年以後を 指して 帝國主義 時代と 呼ぶには 史實的 根據も 乏し。 (Disraeliの slogan. 教科書 P.92, 注3, 注4). [「帝國」の 名に 拘泥せず 「重商」主義, 「自由」主義 等の 名称も 用ふる 時代を 指すを得るものなり。] Schumpeterの 著述に 依りて 十九世紀の 七十年以後を 指して 帝國主義の 獨立の 階級 帝國主義は 政治的 経済的 文化的 軍事的 等の 諸要素の Komplex なり。依りて その 基礎の 中心となるものは 経済的 利益に 依り、他の 諸要素 を 附加し、又は 利用す。帝國主義の 経済的 方面の 重要 性を 高調する べき 経済的 帝國主義 といふものあり。(Woolf) 教科書 P.94 Leninの 著述を 以て 「帝國主義の 基礎的 な 経済的 特征」 grundlegenden

見込関係	自由	在地
自由主義 自由競争の資本主義 産業革命の発展 (藩閥の内部の地位) (金融資本主義の発展) (即ち自由競争)	自由主義 democracy 選挙権の 普及	自由主義 社会—中流階級 (資本主義) 第一多量資本 (農業資本) 国家権力の積極的 活動がなされる。

政治 = 経済的運動。

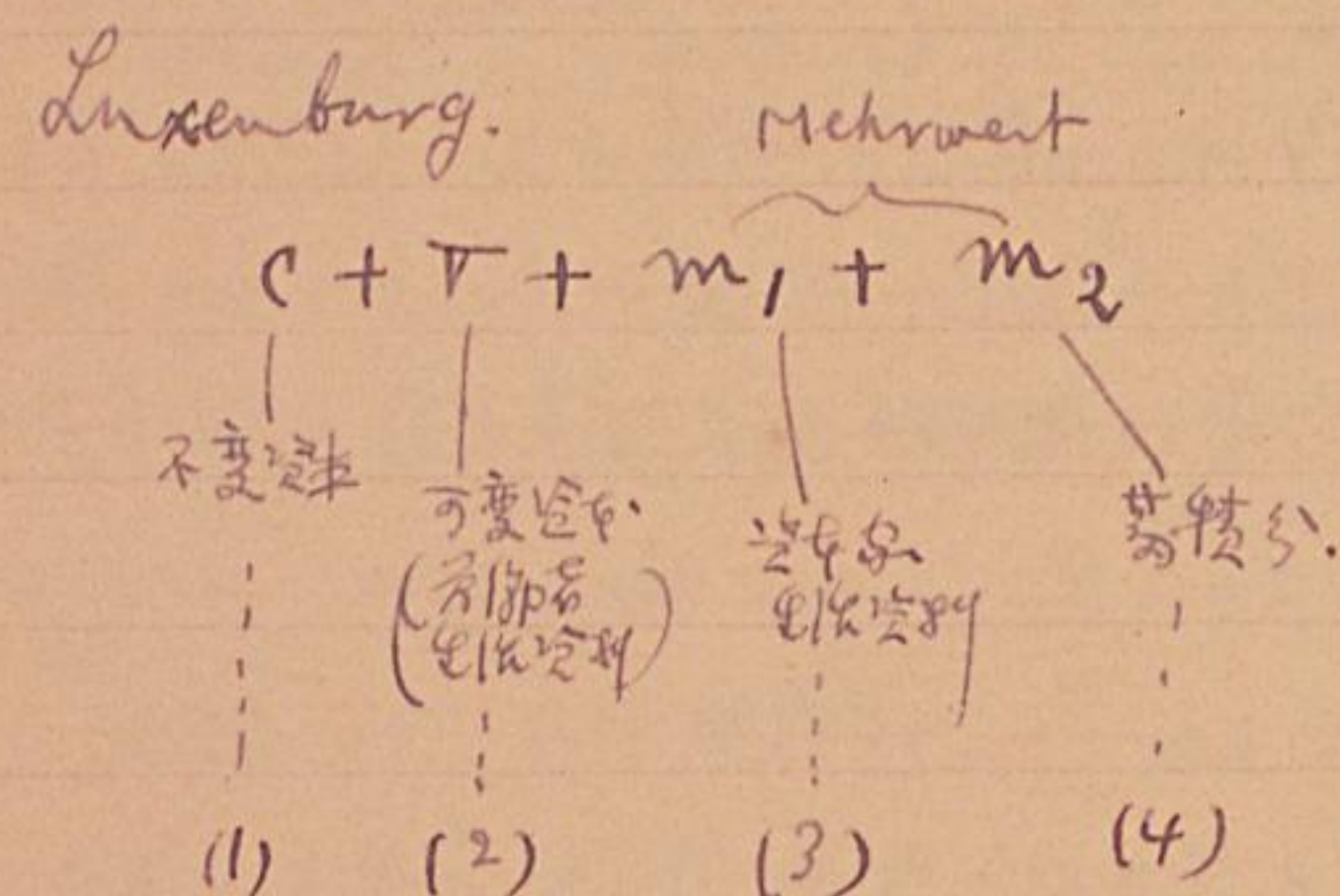
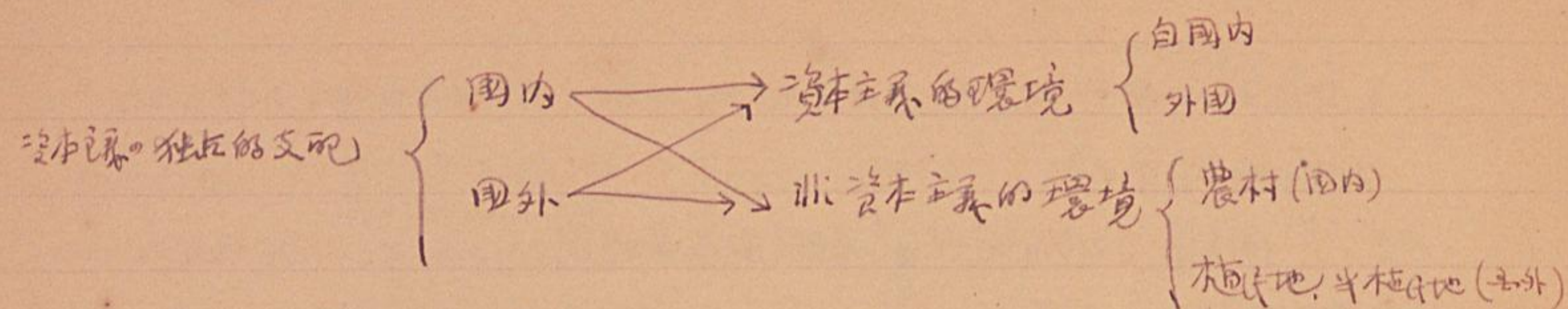
^{政治的}自由主義「地理的・非地理的方面」に於いては、経済的及び社会的な持たれと
結びあふ。(1912)

何れも、経済的側面では帝国主義に基盤のあるものだが、その歴史学的・社会的
最も重要なる、又は地理的・政治的・経済的の間の文化的方面の側面から見て容
易に把握せられた。国家、軍隊、文化、と資本の結合、資本の自由競争
の現代の諸特徴を述べた。(1912 p. 93-4)

十九世紀の七、八十年代以後は資本主義、政治的・経済的に急激に発展し、
この植民地主義、資本主義の急激な発展に足るべき。帝國主義はその急
進発展の地味資本主義(の政治的発展の運動)の内部の各国外に亘りて連関し一貫して
独立を以て政策とす。国内及国外に亘りてこの大連関資本主義の急激な発展
と資本主義の急激な発展の間の不可分の連関が顕著なり。領土の分割、領土の
一占領すべし、その再分割の要求は強國に不可避的に見込まれ激化
した。而してこの植民地の発展は植民地主義の内部の要求
と合一を為すも也。1912年大臣 Jules Ferry 曰く(1890年)。

「植民政策は産業政策の姉妹なり。一併發利は其の相續及補助
として健康なる植民政策を執る時は何等も安全を有する蒸汽
機関の如くである。」と。Hilferding 曰く「政治的・経済的
連関に於ては帝國主義時代の Kartell 同義なりと爲す所あり。」

併し帝國主義の諸特徴を簡明に述べたるものは Lenin 也。(1912 p. 93)
さて資本主義の急激な発展は Profit (利益) の運動の急激な発展に依る。Profit の率及分量の急激な増加
のためには人々と不相容な資本主義の運動である。このために Lenin の
挙げたる帝國主義の諸特徴を生じたる也。このために独立を要求し。

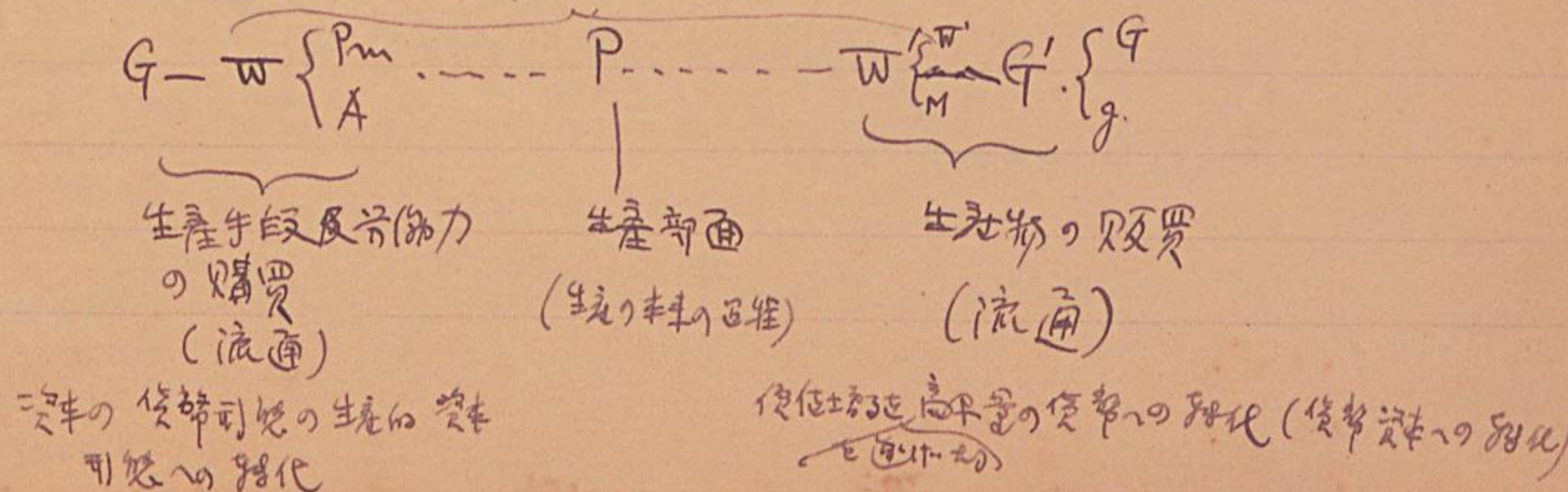


(1), (2), (3) が実現する貨幣量は、此社会(資本的)に存在する中心
 コトが前提セラルガ。(4) = ワイラ然ラズ。(4) の労働者又
 (購買手段の追加貨幣量ヲモツ) 資本家モ(資本自身消費スルハ
 追加) 蓄積ニ付ス) 実現スルヲ得ヌ。従つテ外部の第三者が存在
 スルヲ必要トスル。といふ也。然レニ次年に於テ蓄積ニ生産拡張セシムルカ
 カ、更に追加労働者モ必要トシ、従フテ労働者生活資料の追加需要ヲ起ス。又
 追加不变資本之必要トシ、(追加) 資本家不買ナ。労働者之追加購買力は
 資本家不買ナ。之ヲ前貸ナ。之ヲ前貸ナ。之ヲ前貸ナ。及追加不变資本を買ナ。前貸金は
 本年の拡張再生産ニ付テ生産セシムル金(即ち生産)に於テ供給セシムル。(追加)

この意味では、この発展の要求は国内に於て、又資本主義の発展に於て、又非資本主義的
 環境に於て実行セシムル。この非資本主義的環境に於て要求の履行が
 植民地の獲得に於て行ハレタリ也。(農村に於ては別トシ)。此は Kautsky の
 帝國主義ニ付テ工業資本主義、農業地方に於て進出セシムル。Luxemburg の
 資本主義の非資本主義的環境に於て競争セシムルニ付、帝國主義の特色
 顯著ナル一面ヲ有シ、之のみならず全權ニ於テ植民地ニ於テ、更に又
 反動資本と云フモノニ付テ帝國主義の内容及形態に於テ
 特徴の理解を得ル能ハル也。(教科書 p.90)

資本主義に於テ植民地の獲得は必然ナル也。然リ必ズ此
 けハルニ付テ Luxemburg の言フ如ク、蓄積セシムル餘剰他部分
 現の爲メの第三者トシ、此非資本主義的環境に於テは
 外部に於テ實現ハ資本社会の内部に於テ可能ナル。(Bachmann)。即チ
 帝國の運轉、即チ帝國の率及量セ大ニセシムル運轉上非資本主義的環境
 資本主義に必然ナル也。(2) 更に又恐慌回轉の爲メに非資本主義
 的環境は必要ナル。 (過剰生産の爲メ)。 (3) 帝國の自然の條件の
 差異に基キ生産の必要ナル物的(素材的)生産手段獲得の爲メに必要ナル
 (棉花、ゴム、石油等)。是後、帝國主義社会の形態に於テ是レ。

在リテ (I) 且即チ帝國の運轉に於テ是レに於テ是レハ
 生産量擴張の獲得形態は左の如シ。(資本の循環)



④ Luxemburg は m を資本の全消費に用いるのは純粋に資本主義の
 拡張の限界にあり、 m を増大して、 m の全部を實現する
 貨幣量は二つの場合には存在せず、^{追加的}に不足する。この貨幣
 は何処に消えるか、^{追加的}に不足するものは如何か。
 これは、貨幣實現の困難は存在せず、^{追加的}に「第三者」の
 非資本主義的環境の発展の助けに於て、^{追加的}にその必要は「實現」
 のために必ずしも採取 (Extraprofit) の為である。 (Bucharin)

本國(甲) $1石米 = 4反布$
 國外(乙) $1石米 = 2反布$ (布の生産条件甲国より劣る)
 or $2石米 = 4反布$ (布の生産条件甲国より劣る)

甲国内及乙国内の米と布の流通は Profit を生ずる。しかし甲国に布を輸出し米を輸入する時は
 甲国は 1石米 = 4反布
 乙国は 1石米 = 2反布
 乙国に輸出する米の買値は 2反布、甲国に輸入する米の買値は 4反布、^{追加的}に甲国は 4反布の value を
 乙国に輸出する米の買値は 2反布、^{追加的}に甲国は 2反布の surplus profit を獲得する。
 又乙国に輸入する布は甲国に輸出する米の買値の 2倍の買値 (甲国の標準) を獲得する。
 乙国に輸出する米の買値は 2反布、^{追加的}に甲国は 2反布の surplus profit を獲得する。
 乙国に輸入する布の買値は 4反布、^{追加的}に甲国は 4反布の surplus profit を獲得する。
 乙国に輸出する米の買値は 2反布、^{追加的}に甲国は 2反布の surplus profit を獲得する。
 乙国に輸入する布の買値は 4反布、^{追加的}に甲国は 4反布の surplus profit を獲得する。

④
 2石米
 4反布

Theorien über den Mehrwert Bd. III. P. 279-280.
 Bucharin. Imperialismus. (訳本) p. 208-211.
 採取の基礎、P. 245

② 植民地の商業生産は
 資本主義の発展の比例
 的発展の上、^{追加的}に
 甲国の利益に於て
 Surplus profit の原因
 となる。
 ③ 植民地国家は
 政治的権力による強迫
 を受けるが、^{追加的}に
 甲国の利益に於て
 Surplus profit の原因
 となる。

之の價值形態は $w = c + v + m$

$$w = c + v + m$$

利潤率 M を大にしては如何か

- (I) $q - w < \frac{p_m}{A}$ 即ち生産力が資本の購買力より劣る
- or (II) p 即ち生産の本来的過程に於て
- or (III) $w < q'$ 即ち生産の販売過程に於て

の諸条件は有利に於ては如何か

利潤率 $\frac{M}{c+v}$ を大にしては如何か

② 高級流通は純粋に資本主義の一般に於ては何等かの社会的障
 害を生ずるものがある。但しこれは資本主義の一般に於ては如何か
 である。即ち、^{追加的}に西国の資本主義の生産条件は劣るが、^{追加的}に
 甲国に輸出する米の買値は 2反布、^{追加的}に甲国は 2反布の surplus profit を獲得する。
 乙国に輸入する布の買値は 4反布、^{追加的}に甲国は 4反布の surplus profit を獲得する。
 乙国に輸出する米の買値は 2反布、^{追加的}に甲国は 2反布の surplus profit を獲得する。
 乙国に輸入する布の買値は 4反布、^{追加的}に甲国は 4反布の surplus profit を獲得する。

① 大小の植民地より廉價に原料を買入るは P_m に合致し、
 價值を、又原料を買入るは A に合致し、價值を、
 (甲と乙は労働力の價值は等しいが、生産物の價值は異なる)
 従って $c + v + m$ を w の買値として、^{追加的}に甲国は 2反布の surplus profit を獲得する。
 乙国に輸入する布の買値は 4反布、^{追加的}に甲国は 4反布の surplus profit を獲得する。
 乙国に輸出する米の買値は 2反布、^{追加的}に甲国は 2反布の surplus profit を獲得する。
 乙国に輸入する布の買値は 4反布、^{追加的}に甲国は 4反布の surplus profit を獲得する。

$K \times \frac{M}{c+v}$

(1) 場合 植民地より得る金利の便益(A)は自国産品の労働力購買力を
安んずる也。

(2) 場合 植民地より輸入する労働力は(比自国産品と異なる場合)に
この労働力の生産(生活消費、労働時)の内地労働者より大なる故
Surplus profitの平均也。

植民地への資本を流す時は(1)と(2)の利益を兼ね有す。(即ち植民地
人へ植民地米に支持する故)。

⊗ 以上三きは外国貿易及外国企業に於て一般に云ふべき如し 植民地貿易及植民
地企業の場合に有利なるは次述の如しなり、(前文 ⊕ 参照)

(2) 次は P-村生産者階級に於ては 鮮果便益の抽出部面を如何に
二行程の条件に於て 鮮果便益の抽出に依りて 鮮果の利率を大にせしむべき
之れ 故に 其力等を植民地へ輸入し (Sugar Colonies) 又は 植民地
に於て企業を經營せしむる 資本に有利なるわけなり。(資本輸出と企業輸出)

(3) 故に 生産物の植民地へ輸出するに於て 資本便益の内には 平均
より Surplus Profit を得るに有利なり。

~~...~~ (1)と(3)の場合には M の面より有利なり、 $\frac{M}{C+V}$ の利益也。
⊗ ✓

以上のことは 資本主義一般に於て言へるべきもの、特に 帝國主義の特徵即ち
金融資本主義に於ては、

(I) 生産の量及生産力 利率及利潤総量の増大。—— 故に 区域を
拡大し 生産を擴張し 経営の割合をも更に大規模にし、之により
独占利潤を得んべし。Hilferding の分析に詳し。

(II) 金融資本、金融資本の増大。

(III) 資本輸出の重要性。—— 資本輸出による 利率及利潤総量の増大。

国内産業の中心に、トラスティ化は 生産力の制限 従つて 資本使用の限界を

つくる。従つて 資本を export することは 平均利率を大にする爲めに

必要なり。次に export せしむる 資本は 植民地に於て Surplus Profit

を得 (利貸資本として、企業資本として) を得、この利率は高く、

従つて 本國総資本の平均利率をも高む。即ち、資本輸出は

利貸資本に比し 利率を得、(b) 植民地企業に比し 利潤を得、(c) 本國企業に

対し 本國利率及金利より 生産者より 本國利率を得、又 (d) 本國高利の

資本を輸出するに有利なり。即ち 本國資本の利率及利潤総量を高む。即ち 国内産業の
の生産を抑制し、(本國) 之を輸出するに有利なり。

自由競争時代 colonial trade は 帝国主義振興拡大の手段となる

immigrants.
 本國人口増加
 と関係する

独占資本主義時代 colonial trade. 帝国主義振興の手段となる

immigrants 排斥
 (ナショナリズム)
 本國人口減少と関係する
 移民 (資本輸出に伴う)

資本輸出の制限がある

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

資本輸出の制限は国内労働人口の支持力を弱める傾向がある
 資本輸出による国内労働人口の減少は国内人口の減少を招く
 (ナショナリズム)。

権力の保護手段を要す Egypt, Tunis (2) 非金貨の流通輸出
は軍事的利貸資本と異なり更にその利益の固定に基礎する不協に
おむる ~~非金貨~~ 国家の保護的干渉は一層重要なり、 (3) 在野寡頭政治は
又よき権力と政治的、^{人的} personal に結合して一体となりたる不協に
よを即かすに必要なり、 (4) 帝國主義の独自の強固は世界分割の競争
を激化し、更に一方の強りたるものに於ては危力なる國境
の保護あるに依りて ~~進出~~ 進出の競争を醸成し、従つて各國の競争
は ~~各國~~ 各國の競争となり、^{この競争は} 領土再分割を要求する外に其競争
甚か激進なる。かく ~~帝國主義~~ 帝國主義は其の規模に於て世界
的なり、~~其の~~ 其の環境の如く ~~い~~ 未嘗に激進にあらざり也。

資本主義の発生は資本主義の矛盾の再々なり。帝國主義の
発展は帝國主義の矛盾の発展に外ならず。その矛盾下は、
(1) 発生は世界的に強固にして ^{全世界} 社会的となりたるに於て、
右國民的舞臺 ^{資本主義の} 自利利益追求 (世界競争) ^{この競争は}
(2) 自由の勢力範囲は之を他地に開拓すと共に、他地に於て
は開放を要求する矛盾 (Open Door Policy + Monroe Doctrine)
(3) 独占 ~~の~~ 拡張を要求するに於て各國の強固は互互的に
之を不可能に (或る矛盾) (競争)
(4) ~~非資本主義~~ 非資本主義環境に於て其の利用は
資本主義的なり、従つて之を資本主義化する、是は ^{強固} 強固利國
獲得の欲求と矛盾する。
(5) ^{強固} 強固の互抗を招き、^{強固} 強固の實力と武器とを競ひしめる也。

(I)	(II)
人間の移住、 生産物の交換、 生産事業の移住	労働力の相対または移出、 為替資本的取引の貿易、 企業移住
(使用価値)	(高級使用価値)
人類生産力の発展 恒久的な constant 永久の	資本主義制は: 特定の恒久的制は: variable 下史的。

(I) は (II) を発生せしめ、
 (II) には *Lagen* せしめ、
 (II) を発展せしめ 轉形せしめ (独立化)
 (II) は (I) を発展せしめると同時に地方現象に
 進み (I) は (II) を *aufheben* し、
 (I) は地+制+~~...~~ 的 Träger と 捉らるる。

資本主義制の發達... 使用価値といは人類発展の constant の必要
 (従って右の交換の對象物として生産物 移住)
 ↓ 又他地へ移住する資本主義も、移住も
 (2) 高級使用価値といは資本主義的利潤の必要
 (移住も、資本主義移住、移住も)

(6) 国内労働者に対しては、3期に高率輸出より資本輸出
 増大の原理、これは (1) 資本の国内使用の減少による労働者雇用の減少、
 (2) カリントリスト的孤立政策による国内便給の減少による労働
 購買を促して労働者の過剰人口、生活水準を下げた事による。

(7) 要するに生産力をは其の大きさを得るべく大に押し得る
 一極の矛盾 { 世界市場の平和的発展。 — (競争と協同)
 排他及力の發揮 — (生産制限と否)
 労働中絶 (生産力) の發揮 — (他国他人及び労働者の反撃と否)
 生産物の獲得、~~...~~ 世界市場の平和的発展の必要を大に押し得る
 而して此の矛盾は帝國主義の発展の中心と大に押し得る

独立資本主義の發展傾向 (孤立 — 國際的加力) (借入) 独立資本主義
 は世界市場の平和的発展を善くせ。 (超帝國主義論 Curran, Kautsky, Kautsky)
 教習者 1893 年の不可成。

(1) 独立資本主義とは有力な独立の資本主義の競争
 を ausschalten せしめて之を大規模にし激化する。
 (カトリック内) 闘争。故に合同を有利に闘争するに
 各資本家、又各資本主義の自給的現存の条件
 下で存する利益を完全一致せしめて之を闘争
 は下へ復せしむ。 (計画的平和)

(2) 純粹的抽象的形式的經濟的論理を以てすれば
 國際加力と國際トリストに進入超帝國主義を實現する筈は、
 之を不可能にして之を理由は

(a) 非排他防衛及非排他防衛及民族の互抗 (資本主義)
 ↓ 利益 ↓ 排他

たゞ此の反抗は必也。(Fordism?)

(b) 各国家間の争 (これは純粹に階級闘争に在り。用民心理。強之
用求意欲 ^{separate} 集團意識の存在に基く。 — 而して此は「世界社会主義」
に在りて階級を供すべし。眞に公正 ^{に在りて} 社会扶助を實行せし
國 ^間 争闘の

と独立的國家意識。(子民の利己心) の矛盾は如何にして
止揚せしむべきやとの内務。
Nationalität 内務の重要性。

此の争闘は階級闘争の階級的なものである。各国家間の争は階級闘争の表現である。社会主義は階級闘争の解決を期すものである。眞に公正な社会扶助を實行せしむべきである。

liberalism

"Dem"

"Force"

"Macht"

"Liebe" 也。 God あり!!

植民地の価値

實質的植民

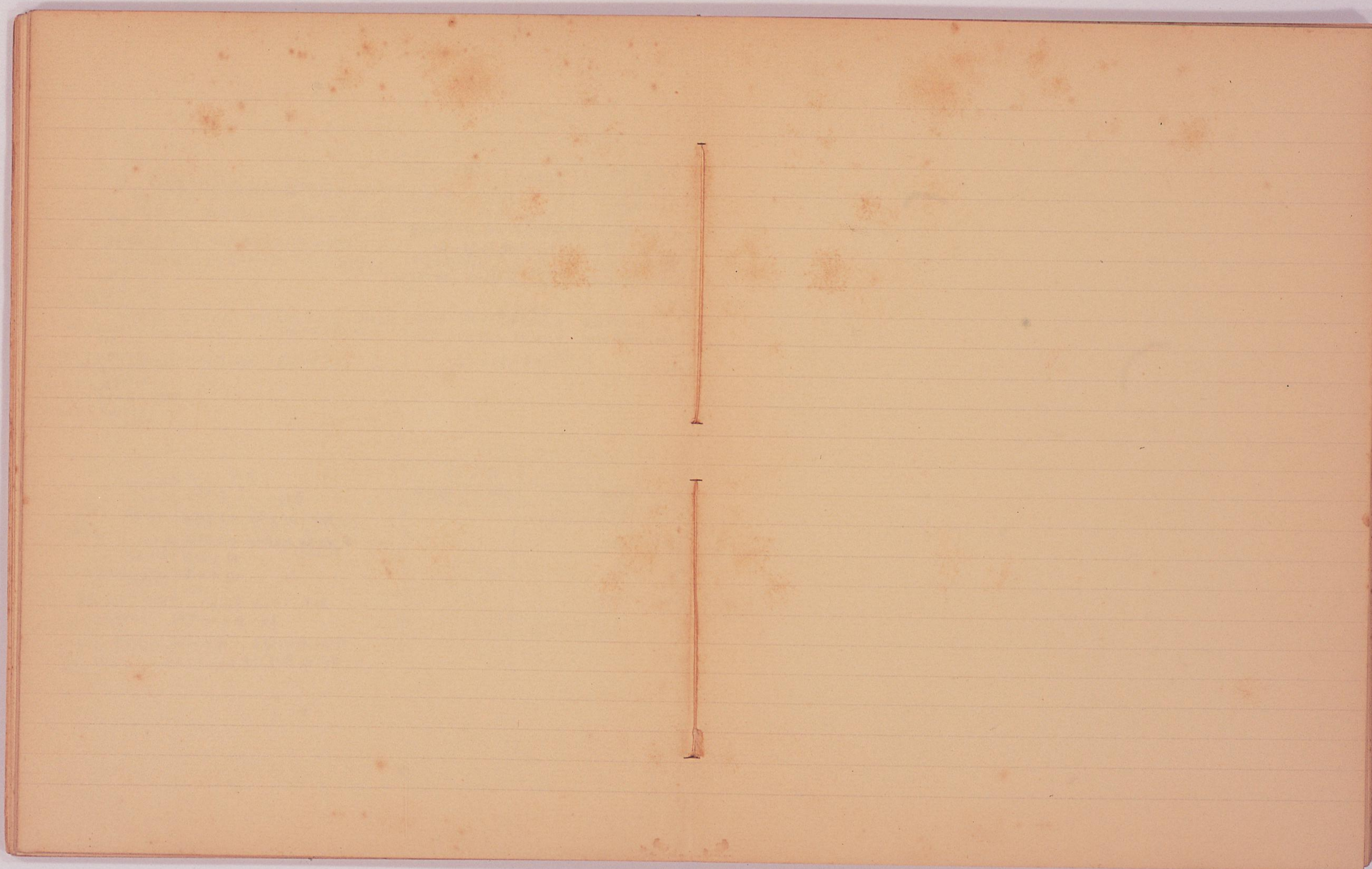
本國の移住	植民地への移住	商品輸出	原料品金融の振替	資本輸出	文化・人種的生育
<p>資本階級</p> <p>経済的比率不利 (等級競争, 競争的移住) - L. von Thünen の理論 政治的比率不利 (移民の大半は, 建設的移住の補填, 算算の危険) 経済的比率不利 (移民の大半は, 建設的移住の補填, 算算の危険) 政治的比率不利 (移民の大半は, 建設的移住の補填, 算算の危険) 社会的移住の制限, 生産力増進のため。</p>	<p>経済的比率不利 (等級競争)</p> <p>経済的比率不利 (本國の移住者割合の増進) 本國の移住者割合の増進に不利な移住者割合の増進に不利。</p> <p>植民地内の移住の地位の改善とそれによる移住。</p>	<p>利 (移民の移住に有利)</p> <p>利 (移住者の移住に有利) 不利 (移住者の移住に不利)</p> <p>生産力増進に有利な移住者割合の増進に有利 Profitの増進に有利な移住者割合の増進に有利</p> <p>利 (Extra Profitの増進)</p>	<p>利 (高利貸移住)</p> <p>利 (消費移住)</p> <p>金融比率不利 商業部門の移住に有利</p> <p>貸付利 利 (Marketの増進) 利 (移住者の移住)</p> <p>交換利</p>	<p>利</p> <p>不利 (移住者の移住に不利な移住者割合の増進) 利 (移住者の移住に有利な移住者割合の増進) 不利 (移住者の移住に不利な移住者割合の増進) 本國の移住者割合の増進に有利な移住者割合の増進に有利 本國の移住者割合の増進に有利な移住者割合の増進に有利</p> <p>生産力増進 利 (移住者の移住) 不利 (移住者の移住)</p> <p>移住者の移住に有利な移住者割合の増進に有利</p>	<p>例</p> <p>利 (移住者の移住)</p>
<p>労働者階級</p> <p>移民一般</p> <p>平民階級</p> <p>人種</p>	<p>本國の移住者割合の増進に有利な移住者割合の増進に有利</p>				<p>要するに 植民地は (1) 移住者の移住に有利な移住者割合の増進に有利 (2) 移住者の移住に有利な移住者割合の増進に有利 (3) 移住者の移住に有利な移住者割合の増進に有利 (4) 移住者の移住に有利な移住者割合の増進に有利 植民地は (1) 移住者の移住に有利な移住者割合の増進に有利 (2) 移住者の移住に有利な移住者割合の増進に有利 (3) 移住者の移住に有利な移住者割合の増進に有利 (4) 移住者の移住に有利な移住者割合の増進に有利</p>

形式的植民 (植民地所有)

本國の移住	實質的移住		財政的		軍事的		感情的	
	移住	資本輸出	資本輸出	資本輸出	移住	移住	移住	移住
<p>資本階級</p> <p>労働者階級</p> <p>平民</p> <p>移民一般</p> <p>平民階級</p> <p>人種</p>	<p>利 (移住) 利 (移住) 利 (移住) 利 (移住) 利 (移住) 利 (移住) 利 (移住) 利 (移住) 利 (移住) 利 (移住)</p>	<p>利 利 利 利 利 利 利 利 利 利</p>	<p>利 利 利 利 利 利 利 利 利 利</p>	<p>利 利 利 利 利 利 利 利 利 利</p>	<p>利 利 利 利 利 利 利 利 利 利</p>	<p>利 利 利 利 利 利 利 利 利 利</p>	<p>利 利 利 利 利 利 利 利 利 利</p>	<p>要するに 植民地は (1) 本國 (2) 移住者 (3) 世界に有利 植民地は (1) 本國 (2) 移住者 (3) 世界に有利 植民地は (1) 本國 (2) 移住者 (3) 世界に有利 植民地は (1) 本國 (2) 移住者 (3) 世界に有利</p> <p>要するに 本國と移住者との共同の利益の増進に有利 本國と移住者との共同の利益の増進に有利 本國と移住者との共同の利益の増進に有利 本國と移住者との共同の利益の増進に有利</p> <p>帝國主義の存在に代はるものは自由競争に有利 共同的の団体移住に有利 (植民地, 移住者)</p>

説明
ターゲット

これより **41** 枚
白紙が続きます。
白紙分の撮影を
省略します。



I. 文明是河川内海川作之交通 — "Oceanic" Civilization

古埃及, 古希腊, 古罗马之发展过程. — 其a, 2. 亦以 指, 地位

II. 古代文化之中心

埃及: S. Dr. Egypt. Mesopotamia. 古埃及, 巴比伦.

III. =

Greece. Greece. Near East 之 文明之 西, 东, 南, 北.

西向 — 欧. 米.

南向 — 印. 味.

Jews. Sugar.

西向之 中心之 文明之 发展 (古埃及与 古希腊 之 关系)

Greece. Rome.

IV. 古代文化之 历史之 地理之 地位, 势力.

Greece { Sparta. Corinth — Apoikia

{ Athens. Macedonia — Kleruchia..

新 主义 的.

" in 大 国 之 发展

之 过程.

Rome — Colonia. Latifundia.

大 庄园 经济.

Plebeian Colonies.

Military "

军事 的.

大 庄园 的 (军事 的)

大 庄园 的.

封建 主义.

大 庄园.

Spain & Italy 等.

Maona.

Commercial.

Handelspolitik.

封建 主义 的.

Columbus. (1) Turks — 对 Commercial route, 控制

(2) 由 中 东 经 波斯 湾 到 西 方. Jews 也 走 — 这样 才 能 贸易

西 方 — Conquistadores

英 —

农业 的 (封建 主义) Enclosure

高 地 农业 (在 北 方)

封建 主义 (Raleigh 等)

封建 的 — Carolina. (Dominion of Virginia)

殖民地 — 其他. Colony

中 央 地 带 的 封建 主义 (Dissenters, 特 别)

封建 的 plantation 1. 等 等

{ 农业 的

封建 的 (Bacon)

封建 主义 的.

经济 的. — 金钱.

Spices. (上 海 附近, 香料)

手工 业 (Wool, iron)

这样 才 能 贸易 (在 中 央 地 带).

自由 主义.

竞争 主义, 马尔 萨斯 (Malthus)

Industrial Capital

棉花, 羊毛 — cotton (3 种)

wheat (2 种)

这样 才 能 贸易.

托 拉 斯 主义.

Little Englandism.

English Monopoly of Colonial Possession

新 主义 的.

苏 伊 士 运河.

Empire of India

Territory (主 权)

Protectorate

Leased Territory

Lenin

Financial Capital

Suez Canal

1869. 1869

Dominion

Panama Canal

(大 运河)

自由 主义

Mandate

New East

Pacific Problem. (Marriott)

{ 领土 的 划分 的 完成

世界 的 通 关 的 完成

支 那.

California.

Br. Columbia

Imperialism v. Internationalism

Capitalism v. Communism

Colonial Power v. Colonial people (所 有 权 问题)

日本

① 欧洲 人 的 殖民 主义 的 政策 — "Colored race" — 在 中 央 地 带 的 殖民 主义 的 政策

② Pacific Problem.

③

Freie Völker v. Freie Verbindung

aber nicht 個人 主义 的 Weltgeltungs

